

問 10 地中送配電線の主な布設方式である直接埋設式、管路式及び暗きょ式について、各方式の特徴に関する記述として、誤っているものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

- (1) 直接埋設式は、他の方式と比較して工事費が少なく、工事期間が短い。
- (2) 管路式は、直接埋設式と比較してケーブル外傷事故の危険性が少なく、ケーブルの増設や撤去に便利である。
- (3) 管路式は、他の方式と比較して熱放散が良く、ケーブル条数が増加しても送電容量の制限を受けにくい。
- (4) 暗きょ式は、他の方式と比較して工事費が多大であり、工事期間が長い。
- (5) 暗きょ式は、他の方式と比較してケーブルの保守点検作業が容易であり、多条数の布設に適している。